

## アフラックの「AI 倫理原則」策定について

当社は、コアバリュー（基本的価値観）に基づき、当社が向き合うべき社会的課題の解決に取り組み、社会と共有できる価値を創造していく CSV 経営を実践しています。また、CSV 経営を実践するにあたり、DX を推進し、デジタル技術である AI（Artificial Intelligence）を積極的に活用しています。

AI は社会に新たな価値をもたらす革新的な技術ですが、その社会への影響力の大きさから、適正な利活用が企業に求められています。このため、当社は AI を利活用するうえで配慮すべき事項を正しく認識し、適正な AI 利活用を推進するために、「AI 倫理原則」を策定し、リスク評価態勢を整備しました。当社は、このような適正なガバナンスの下で AI の利活用をさらに推進することにより、お客様にとって価値ある商品・サービスの提供を実現するとともに、社会の変化に対応する新たなビジネス領域においても、保険の枠を超えた新たな価値を創造します。

なお、当社は既に制定している「個人情報の取り扱いについて（プライバシーポリシー）」に基づき適正に個人情報を取り扱っています。今般策定した AI 倫理原則は「個人情報の取り扱いについて（プライバシーポリシー）」と整合しており、AI を利活用する際の個人情報の取り扱いに関し、AI 倫理の観点でさらに配慮すべき事項を示しています。

[アフラックのコアバリューに基づく CSV 経営とは](#)

[DX@Aflac（経営戦略に基づき当社が推進している DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みの総称）](#)

[個人情報の取り扱いについて（プライバシーポリシー）](#)

### AI 倫理原則

#### 1. 人間の尊厳への配慮

当社は、人間の尊厳、人権、基本的自由へ配慮し高い倫理観を持って、AI を利活用します。

#### 2. 多様性・公平性

当社は、AI の判断に偏り（バイアス）が含まれる可能性があることに留意し、特定の個人や集団が不当に差別されることがないように、人々の多様性・公平性へ十分に配慮して AI を利活用します。

#### 3. 透明性・アカウンタビリティ

当社は、ステークホルダーの信頼と安心を得るために、必要に応じて、ステークホルダーへ AI を利活用している事実、目的、範囲等の情報を提供することで透明性を確保し、AI がもたらす影響に対して適切に説明責任を果たすよう努めます。

#### **4. 適正な学習**

当社は、AIの学習等に利用するデータの質に留意し、データの正確性・完全性を確保することに努めます。また、AIの判断は内外環境の変化により精度が低下するため、精度低下の影響度合いに応じて再学習等の適切な保守を行い、AIの品質維持に努めます。

#### **5. 人間の判断の適切な介在**

当社は、AIの判断には信頼性の確認または倫理的な配慮を必要とする場合があることに留意し、必要に応じて、AIの判断結果を利用するか否か、あるいは、どのように利用するか等を、人間が最終判断します。

#### **6. 適切な人財配置と育成**

当社は、AIを社会的背景に応じて適正に利活用するために、AIの能力、特性、限界等を十分に理解し、かつ、AIを正しく利活用するためのリテラシーと倫理を備えた人財を適切に配置・育成します。

#### **7. セキュリティ・プライバシー・安全性**

当社は、AIのセキュリティに留意するとともに、プライバシーと生命・身体・財産の安全性に配慮します。想定されるリスクへの合理的な対策を事前に講じておき、万が一、インシデントや重大な事故が発生した場合に講ずるべき措置をあらかじめ整理しておくことで、被害の最小化に努めます。

#### **AI 倫理原則の適用範囲**

「AI 倫理原則」は、当社の全ての役職員等が AI を利活用する際に適用されます。当社における AI の利活用とは、当社が開発した AI を利活用すること、および当社以外の他者が提供する AI を当社が利活用することを指します。

#### **AI 倫理原則の見直しについて**

当社は、社会の変化、AI そのものの発展、また様々なステークホルダーとの対話を踏まえ、必要に応じて本原則を見直し改定していきます。

以上